

先輩インターンの活躍について

派遣年度	2013年度	インターン番号	TA204	タイプ	提案型
派遣国	ウガンダ共和国			派遣都市	カンパラ
受入機関	Phenix Logistics (Uganda) LTD				
受入機関概要 (事業内容等)	ウガンダオーガニックコットンを原料としたT-シャツ、Y-シャツを製造販売する会社				
派遣期間	2013年12月2日～2014年2月28日				
現在の所属先	株式会社スマイリーアース			当時の所属先	同じ
現在の所属部署	取締役			所在地	大阪
区分				性別	男

1. インターンシップに参加されたきっかけや動機についてお聞かせください。

JETROのSMSでこの事業を知りました。私のために国が用意した事業だと確信し応募しました。

2. インターンシップではどのようなことをされましたか。

PHENIX社が抱えていた販路促進のために、製造開発事業部にて現場レベルの底上げに努めました。インターンシップ事業以前には製造できなかったデニム生地を作るための太い糸(太番手糸)を製造できるための技術移転を行いました。

3. インターンシップに参加して達成できたこと、参加して良かったことは何でしょうか。

ウガンダの文化や生活習慣など現地でしかできない経験を得ることができた。

インターンシップ前、インターンシップ後で私自身の中でのウガンダとの向き合い方で大きく変わった事があります。私自身が現場を知り、事業の意味を知ったことで仕事に対し「誇り」というものを持つことができました。

提案型インターンシップを行えたことで、現地現場で働く方々との関わりと絆を構築出来たことが最大のメリットであったように感じています。

言葉、人種、宗教という違いがあっても、手を取って目を見て、うったえ合うことで人は相手を理解し合えるという、学校の教科書に載っていない事柄を体験し経験できたことは、本当に今の私の礎となっています。本当に、参加してよかった。その言葉しかありません。

インターンシップ風景



オーガニックコットン農場視察



インターンシップ最終日

4 インターンシップの経験は、その後どう活きましたか。具体的なエピソードを交えて教えてください。

インターンシップを経験し、自信をつけることができました。
そのおかげで、どこへ営業へ行っても訪問先企業の方々と堂々と向き合うことができました。
所属している株式会社スマイリーアースの営業として
営業成績が大幅に伸び、お取り組み先の企業様も新規開拓できました。

私自身の成長に繋がった要因の一つとして
ウガンダのオーガニックコットンと
現地で働く人々と、その人たちの努力を知れた事
「知る」事によって
私は、
私自身の背中に、常にウガンダを感じれるようになりました。

ウガンダを背負い、家業継承という使命を背負う事で
私の心は大きく成長できたように思っています。

今後
ウガンダと日本を繋ぐためのプロジェクトに関わっていく事が決まっています。
その事業においては、業務主任者としてプロジェクトに携わって行きます。
インターンシップで経験し、学んだこと次の事業現場で生かしていくがインターンシップを経験した者の
使命だと感じています。
「海外即戦力インターンシップ事業」に参加したインターン生として
日本国の海外事業の即戦力となるための努力を、これからも継続し行っていきたいと思っております。

5. 最後に、インターンシップへの参加を検討している人たちへメッセージをお願いします。

私たちが暮らす日本の未来の可能性を広げるために、やる気のある若者にチャンスが与えられている
事業「海外即戦力インターンシップ事業」。
この事業に参加することで、自分自身の可能性を広げ、世界を視野に入れた目標を立てることができる
経験値を得ることができます。
自分自身を信じ、トライして下さい。インターンシップが終わるころには、何かを得れているはずですよ。

現在の活躍の様子



ウガンダの農法を日本で試みながら、
品質向上へのヒントを探る。



ウガンダ北部でのフィールドワーク
農法の知識を共有し、品質向上を共に
目指している。